

Johann Sebastian Bach MATTHÄUS-PASSION



オラトリオ東京

マタイ受難曲

“本当にこの方は、神の子だったのだ”

Wahrlich, dieser ist Gottes Sohn gewesen.

2023年4月9日(日)

13:00開演(12:00開場)

紀尾井ホール

¥7,000(税込)全席自由

J.S.BACH マタイ受難曲 BWV244 全曲

公演アドバイザー・字幕 礒山 雅

主な出演者

■音楽監督・指揮	堀 俊輔	■チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ	島根 朋史
■ソリスト	升島 唯博(エヴァンゲリスト)	■オルガン	上尾 直毅
	大川 博(イエス)	■管弦楽	神奈川フィルハーモニー管弦楽団
	隠岐 彩夏(ソプラノ)	■児童合唱	ゆりがおか児童合唱団
	加納 悦子(メゾソプラノ)	■合唱	オラトリオ東京
	五郎部俊朗(テノール)		
	大沼 徹(バリトン)		

チケット
取り扱い

情報公開日:2022/12/25(日) チケット発売日:2023/01/09(月・祝)

- イープラス ※Web販売のみ
 - チケットぴあ ●Pコード:233087 ●興行コード:2243518 ※Web販売のみ
 - 神奈川フィル・チケットサービス
- TEL:045-226-5107(平日10:00~18:00)※電話予約は1/10(火)から



イープラス



チケットぴあ



神奈川フィル・
チケットサービス



オラトリオ東京HP

お問い合わせ

オラトリオ東京事務局 電話:090-6693-1531 担当:八幡(ハチマン) メールアドレス:oratoriotokyo@gmail.com

主催:オラトリオ東京 後援:公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団



オラトリオ東京

「マタイ受難曲」 演奏会

Johann Sebastian Bach
Matthäus-Passion



©堀田力丸

音楽監督・指揮
堀 俊輔
Shunsuke HORI



エヴァンゲリスト
升島 唯博
Tadahiro MASUJIMA



ソプラノ
隠岐 彩夏
Ayaka OKI



メゾソプラノ
加納 悦子
Etsuko KANO



イエス
大川 博
Hiroshi OKAWA



バリトン
大沼 徹
Toru ONUMA



テノール
五郎部 俊朗
Toshiro GOROBE



チェロ、ヴァイオリン・ダ・ガンバ
島根 朋史
Tomofumi SHIMANE



オルガン
上尾 直毅
Naoki UEO

《マタイ受難曲》BWV 244

我等の主イエス・キリストの受難、福音史家「マタイ」による。初演：1727年4月11日 聖金曜日 週間。テキスト、マタイ福音書第26章1節～第27章66節、ピカンダー作のマドリガル自由詩、コーラル。

“私は、構想の雄大さと親しみやすさ、人間的な問題意識の鋭さにおいて《マタイ受難曲》こそバハの最高傑作であると思っている。この作品には、罪を、死を、犠牲を、救済をめぐる人間のドラマがあり、単に音楽であることをはるかに超えて、存在そのものの深みに迫ってゆく力がある。”磯山雅著「マタイ受難曲」東京書籍より。

磯山 雅 Tadashi Isoyama 公演アドバイザー・字幕

1946年東京生まれ、長野県に育つ。松本深志高校卒業後、東京大学文学部、同大学院修士、博士課程で美学芸術学を学ぶ。10代後半にバハに開眼、東大時代にはフルートを修める。その後1982～1984年にかけてミュンヘン大学へ留学、さらに研鑽を積む。1988年、第1回辻莊一賞を受賞、バハ研究者として注目を浴びた。国立音楽大学に奉職し、教授、図書館長を歴任（後に招聘教授）、多くの逸材を育てる一方、学外においても、いずみホール音楽ディレクターとして、バハにとどまらず多くの演奏会の企画、公演を実現した。音楽評論にも健筆をふるい、その該博かつ的確な批評は多くの読者に定評があった（毎日新聞他）。専門はドイツ音楽史、音楽美学。著書「バハ＝魂のエヴァンゲリスト」「バハ カンタータの森を歩む」「モーツァルトあるいは翼を得た時間」（以上東京書籍）他多数あるが、特に「マタイ受難曲」（東京書籍 1994年）は磯山氏畢生の名著である。本書は優れたバハ研究書であるだけでなく、バハ演奏家にとって、多くの教示と示唆を与える実践的な指南書になっている。2018年2月22日死去。
[記 堀俊輔]

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

1970年神奈川県を本拠地とする唯一のプロ・オーケストラとして発足。地域に密着した音楽文化の創造をミッションとして、神奈川県全域をはじめ、全国各地で幅広い活動を続けている。1978年に一般財団法人、2014年には公益財団法人として認定されている。

横浜・川崎を中心とした定期演奏会や特別演奏会、県内各地を回る巡回公演などの主催公演を開催。音楽教育にも積極的で、小中学校での音楽鑑賞教室を全国各地で開催し、広い世代に音楽の魅力を伝え、また医療機関や特別支援学校への出張演奏も積極的に行っている。2020年には創団50周年を迎え、現在指揮者陣には、音楽監督に沼尻竜典、名誉指揮者に現田茂夫、特別客演指揮者に小泉和裕を擁し、実力、人気ともに益々注目されているオーケストラである。

ホームページ www.kanaphil.or.jp

ゆりがおか児童合唱団

“歌いたい！子供の心を大切に”をモットーにして、お母さんたちの運営で、小学校1年生から高校3年生の子供たちが、学校、学年を超えて合唱活動をしています。ここで学び、歌う楽曲はヨーロッパの合唱音楽を中心に、となつかしい童謡や唱歌、ポピュラーソングまで幅広く、子供たちの心を育てる、心の糧になるような曲を心がけています。

1970年4月創立。ひばり児童合唱団の団員であり、学生時代に「ひばり」の指導経験を持つ山田稔子が当時指導をしていた百合丘コーラスと、「母子で合唱を楽しめたら！」との思いからスタート。

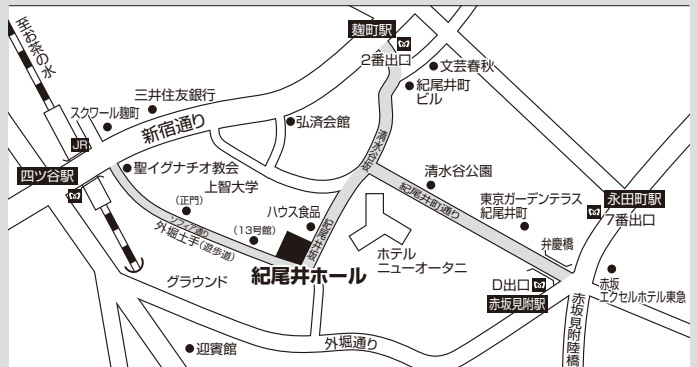
2000年「国際市民ネットワーク」の音楽親善大使として旧ユーゴスラビア・クロアチアを訪問。「多摩地域文化賞」「花とライオン児童合唱賞」「川崎市文化賞」などを受賞。

オラトリオ東京(合唱)

1994年9月鋭鋭の指揮者 堀俊輔を音楽監督として、オラトリオに憧れる選抜メンバーで結成。ミュージック・アドバイザーに秋山和慶、井上道義が就任。オラトリオは古典時代に確立した演技や舞台装置を使わずに、歌と器楽だけでドラマを作る音楽形態。95年5月の創立演奏会、ハイドン「天地創造」(管弦楽・東京交響楽団)は音楽界に新風を吹きこんだ。第7回定期演奏会シューマン「楽園とペリ」(管弦楽・東京交響楽団)毎日新聞批評“オラトリオの概念を変えた画期的な演奏である。”磯山雅。尚この演奏CDはレコード芸術特選盤(ナミレコード)。



紀尾井ホールへのアクセス図



四ツ谷駅 赤坂口・麹町口(JR線・丸の内線・南北線)徒歩6分
麹町駅 2番出口(有楽町線)徒歩8分
赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分
永田町駅 7番出口(半蔵門線)徒歩8分